



発刊にあたって

摂津市は今年で市制 36 年を迎えた若い市であります。しかし、現在摂津市となっている地域の歴史を振り返るとき、古代から日本の歴史的事項との関連をいくつも見いだすことができます。大坂(大阪)という難波京以来日本の拠点であり続けた所と、千年の都京都に挟まれて、激動の歴史の影響を受け続けてきた地域だからです。

摂津という市名は、古代律令国家の中心的位置を占める五畿の中の、由緒ある一国の名をいただいたものです。本文でも詳しく述べますように、摂津市はこの広大な摂津国の東端を占めています。摂津国は古くは「津の国」とも呼ばれました。淀川河口等がおのずからなる津(港)を形成したため、国際交流の要所となり、国内の人と物とが豊かに出入りする場所であったからです。

このように、摂津市域は歴史的にみても魅力ある地域です。また、ここに暮らしてきた人たちが、嘗々たる努力を積み重ねて、今日の姿を創り上げてきたそくせきの残る地域です。

摂津市は、近年の急激な都市化と人口の急増によって、大きく変貌しました。それだけに、郷土の歴史や昔の暮らしの様子はともすれば忘れられがちです。しかし、摂津市域で日々生活する私たちが、この地で起こった歴史的事象や、昔の人たちの暮らしの様子に理解を深め、郷土としての愛情を育てていくことは、地域の未来を築いていく上でも意義あることではないかと考えています。この冊子がそのような役割を少しでも果たすことができればと念じております。

平成 14 年 3 月

摂津市長 森川 薫